

一級自動車工学科		2025年度		授業計画		
時期	3年A巡	単元	実習	教科名	ECCS	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	一級エンジン、TS2級（エンジン）		発行日	2025年4月1日
総時限	48時限				教科担当	高濱
必要時限	48時限					多賀
指導教員の実務経験		該当		非該当		
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造・作動について指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①電子制御エンジンに用いられる各センサの点検と故障診断を学ぶ。 ②電子制御エンジンに用いられる各アクチュエータの点検と故障診断を学ぶ。 ③外部診断器を活用した故障診断を学ぶ。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
①センサの種類やアクチュエータの駆動方式に合わせて、サーキットテスタやオシロスコープを活用し故障診断ができる。 ②難解不具合の故障診断に関して、理論立てた点検方法を考えることができる。						
学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1) 履修試験での学習評価 実技試験100点にて評価する。 70点以上で合格 2) 出題試験項目 ①センサ、又はアクチュエータ本体、配線、ECUいずれかに断線、短絡があり 故障診断を行う。						
準備学習						
事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項を学習する。						

